

# 安藤百福賞

■ 団体名 NPO 法人暮らし・つながる森里川海（神奈川県）

■ 企画名 自然探偵団が行く

■ 目的

私たちの暮らす平塚市は森、里、川、海と、豊かな自然に恵まれています。しかしながら、TVゲームの普及などにより、子どもたちの自然離れが進んでいます。子どもたちを野に戻そうと、多様な催しを展開しています。

小さな時の自然との触れ合いは豊かな感性を育みます。霜柱を踏みしめた時の音や感触、甘酸っぱい桑の実の味など、五感で感じたことは大人になっても忘れません。

■ 企画内容

【生きものの王国づくり】

① バタフライガーデンづくり

人が見ても美しく、生きものにも優しい、バタフライガーデンづくりに汗を流しました。

② ウナギの棲む川づくり

絶滅危惧種ウナギを保護するため、住処となる石倉カゴを設置し、お魚調べを実施しています。子どもたちに大人気です。

③ カエル池のかい掘り

一番人気はウシガエル。離さない子が続出します。外来種駆除の取り組みですが、泥んこ遊びになっています。

④ ワラジボードづくり

地面に板を敷いておくとワラジムシなどが集まります。クルミの森に来るたびに、そ〜と蓋を開けちゃうのであります。

【暮らしの近くの自然体験】

① 平塚新港お魚調べ

50 種以上の生き物が見つかります。夜、水中をライトで照らすと、魚やアンドククラゲなどがユラユラ。幻想的な世界が子どもたちを魅了します。

② 五感で感じる自然観察

路傍の小さな花を虫眼鏡で見ると別世界が広がっていました。葉をちぎって匂いをかいだり、もんだりして、匂いの違いも楽しみました。

③ ナイトウォーク

ウシガエルの不気味な声を聞いたり、セミの羽化や夜咲くカラスウリの花を観察したりなど、非日常の世界が子どもたちを魅了します。

④ 川の自然楽校

子どもたちの歓声が川面に響きます。ライフジャケットの使い方を学んだり、魚採りをしたりなど、とにかく楽しいのであります。

【新規の取り組み】

昆虫標本づくり、バンブードラムで音遊び、ペットボトルで螺貝、ミニミニ博物館の開催

■ 実施期間 2020年6月20日～9月21日

■ 実施場所 神奈川県平塚市相模川（馬入川） 馬入水辺の楽校

■ 企画の特徴

「子どもの時は子どもする」を合言葉に、源流域から海まで、相模川を丸ごと楽しむ企画を展開しています。「手取り足取りしない。主体的な参加を促す」「知識の押し売りはしない。自然観察の面白さを体感する」「達成感を味わう」の3点に気をつけています。

